

(別紙様式 3)

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局 名	近畿農政局
-----	-------

都道府県名	兵庫県	関係市町村名	こうべしきたくおうごちよう 神戸市北区淡河町
事業名	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	地区名	かつお 勝雄地区
事業主体名	兵庫県	事業完了年度	平成16年度
〔事業内容〕 事業目的： 本地区は兵庫県の南東、神戸市の北西部に位置し、一級河川淡河川沿岸に広がる水田単作地域である。ほ場は小規模・不整形であることから、農作業に多大な労力を必要としていた。このため、ほ場整備により大区画化及び汎用耕地化を行うとともに、農道、用排水路の整備を行い、農作業の効率化及び水田畑利用の推進により生産の向上を図るため本事業を実施した。 受益面積：58ha 受益戸数：80戸 主要工事：区画整理 58.3ha、用水路 13.8km、排水路 12.0km、農道 10.9km 総事業費：1,393百万円（決算ベース） 工 期：平成7年度～平成16年度（計画変更：平成15年度）			
〔項 目〕 ア 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 1 農作物の生産量の変化 水稻、大豆の評価時点の作付面積は、計画作付面積より減少している。小麦については作付けはなされているものの、計画作付面積に達するまでには至っていない。 一方、計画には無かったそばの作付けがなされている。 〔作付面積〕（資料：神戸市データ、酒米の評価時点の面積は推計値） 事業実施前（平成5年）→ 計画 → 評価時点（平成20年） 水稻（うるち米）： 10.0ha 2.0ha 3.5ha 水稻（酒 米）： 36.8ha 42.8ha 37.7ha 大豆： 12.3ha 6.3ha 5.0ha 小麦： — ha 30.0ha 5.0ha そば： — ha — ha 10.7ha 〔生産量〕（資料：神戸市データ） 事業実施前（平成5年）→ 計画 → 評価時点（平成20年） 水稻： 219 t 228 t 204 t 大豆： 34 t 11 t 15 t 小麦： — t 56 t 13 t そば： — t — t 9 t 〔生産額〕（資料：兵庫県データ） 事業実施前（平成5年）→ 計画 → 評価時点（平成20年） 水稻： 81百万円 93百万円 54百万円 大豆： 8百万円 3百万円 3百万円 小麦： 一百万円 8百万円 2百万円 そば： 一百万円 一百万円 2百万円 2 営農経費の節減 ほ場整備の実施に伴い農作業効率が向上し、事業実施前と比較して、農作業時間と機械経費の節減が図られている。			

[労働時間] (資料：神戸市聞き取り)

事業実施前 (平成5年) → 計画 → 評価時点 (平成20年)

水稲： 1,089h/ha 141h/ha 143h/ha

[機械経費] (資料：神戸市聞き取り)

事業実施前 (平成5年) → 計画 → 評価時点 (平成20年)

水稲： 1,204千円/ha 492千円/ha 492千円/ha

イ 事業効果の発現状況

1 事業の目的に関する事項

ほ場整備の実施により水田が汎用化したことで、地域ぐるみでのブロックローテーション栽培が実施され、水田の畑利用が促進されている。また、末端用排水路の整備により、水管理の改善が図られ、水稲の単収が増加している。

[農業生産性の向上] (資料：神戸市データ)

事業実施前 (平成5年) → 計画 → 評価時点 (平成20年)

水稲： 467kg/10a 509kg/10a 496kg/10a

2 土地改良長期計画における施策と目指す成果等の確認

①効率的かつ安定的な経営体の育成と質の高い農地の利用集積

本事業の実施を契機として、地区内農家57戸が参加した農事組合法人が設立された。

当該組合員の共同出資のみで建設された、神戸市でも随一の設備を誇るライスセンターを活動の拠点として、本地区内で31ha、地区外を含めると40haの基幹三作業受委託による農地利用集積が図られている。

(資料：地元聞き取り)

②農用地の確保と有効利用による食料供給力の強化

近傍に位置する道の駅において、本地区で生産されたそば粉を使ったそばを提供するとともに、そば粉をはじめとする農産物の販売がなされている。

また、特にそばについては、地域ぐるみでの計画的なブロックローテーション栽培が行われている。

ウ 事業により整備された施設の管理状況

地区全域で農地・水・環境保全向上対策に取り組んでおり、その共同活動の基礎部分や農地・水向上活動により、農事組合法人をはじめ集落ぐるみできめ細かな農地、用排水路、獣害防止柵及び農道の維持保全管理の取り組みが実施されている。

エ 事業実施による環境の変化

1 生活環境

ほ場整備の実施により、水田の湛水機能向上による災害発生抑制などが図られている。

また、本事業による創設非農用地を活用し、河川改修が実施されたほか、農業集落排水施設等の整備がなされ、生活面での安全・安心が図られている。

2 自然環境

耕作放棄地発生の未然防止により、良好な農村景観が維持されている。

また、本事業の実施を契機として始まったそばの栽培により、地域の景観の保全・向上が図られている。

オ 社会経済情勢の変化

1 社会情勢の変化

産業別就業人口の総数は減少しているが、第1次産業の就業人口は増加している。

[産業別就業人口の変化] (出典資料：国勢調査)

(平成12年)

(平成17年)

第1次産業： 1,585人 (区 1.6%、県 2.6%) → 1,682人 (区 1.7%、県 2.5%)

第2次産業： 20,919人 (区20.9%、県30.6%) → 18,321人 (区18.4%、県27.7%)

第3次産業： 77,771人 (区77.5%、県66.8%) → 79,762人 (区79.9%、県69.8%)

計 100,275人 99,765人

2 地域農業の動向

総農家戸数は減少しているが、専業農家戸数は増加している。

〔専業別農家数の変化〕（出典資料：農林業センサス）

	(平成12年)		(平成17年)
専業農家	184戸(区11.3%、県12.8%)	→	226戸(区15.0%、県16.5%)
第1種兼業農家	149戸(区9.2%、県7.1%)	→	149戸(区9.9%、県8.2%)
第2種兼業農家	1,292戸(区79.5%、県80.1%)	→	1,132戸(区75.1%、県75.3%)
計	1,625戸		1,507戸

カ 今後の課題等

- ・ シカやイノシシなどによる農作物の被害に対処するため、本事業により獣害防止柵の整備を一部行ったが、地区全域をカバーするには至っていないことから、今後も獣害防止対策を進める必要がある。
- ・ 農事組合法人への更なる農地利用集積を促進する必要がある。

事後評価結果	・ 事業実施により、農業用水の安定供給及び労働時間の節減が図られ、安定的な農業が営まれている。 ・ 事業を契機として農事組合法人が設立され、農地利用集積が図られている。
第三者の意見	・ ほ場整備事業による基盤整備によって、農作業時間の短縮等の効果の発現がみられるとともに、農事組合法人への農地利用集積が図られている。 ・ 農地の有効利用や地域の環境保全が図られている。また、新たに水田の畑利用としてそばが栽培され、地域の活性化が図られている。

Figure 1: Overview map of the Tama River (Tama River) area. The map shows the river's course through the region, with various land use areas and topographic features. The legend indicates the following symbols:

- 河川 (River)
- 道路 (Road)
- 境界線 (Boundary line)
- 市界線 (City boundary line)
- 町界線 (Town boundary line)
- 村界線 (Village boundary line)
- 区界線 (District boundary line)
- 国界線 (National boundary line)



記号	説明
	国境
	市界
	町界
	主要道路
	普通道路
	ハイウェイ
	鉄道線
	国鉄線
	私鉄線
	バス線
	河川
	湖沼
	山岳地帯

(別紙様式3)

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局	名	近畿農政局
---	---	-------

都道府県名	奈良県	関係市町村名	てんりし 天理市
事業名	農道整備事業 (農林漁業用揮発油税財源身替 農道整備事業)	地区名	しらかわに 白川和爾地区
事業主体名	奈良県	事業完了年度	平成16年度
〔事業内容〕 事業目的：本地区は大和平野東部に位置し、水田稲作と共になす・トマト・いちご等の畑作振興に努め農業収入の安定を図り、京阪神地域の都市近郊型農業として産地形成しているが、集落における道路は狭小であり、これら道路に接して設けられた集出荷場における農産物の輸送に支障を来していた。 このため、大型車輸送による計画的な輸送体制をもとに地域農産物の阪神地域への物流の合理化を図るとともに、他地域との競争力のある農業を行うため、本事業により基幹となる農道の整備を実施した。 受益面積：218.2ha 受益戸数：146戸 主要工事：農道1.3km 総事業費：1,043百万円（決算ベース） 工期：平成8年度～平成16年度（計画変更：平成14年度） 関連事業：県営ほ場整備事業（担い手育成型）和爾地区：平成8年度～平成17年度			
〔項目〕 ア 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 1 農作物の生産量の変化 評価時点における作付面積及び生産量は計画よりも減少しているが、なす・トマトは野菜指定産地に指定されており産地として確立されている。 〔作付面積〕（出典資料：奈良農林水産統計年報：天理市） 事業実施前（平成7年） → 計画 → 評価時点（平成20年） 水 稲： 1,010ha 895ha 838ha な す： 22ha 15ha 13ha トマト： 23ha 21ha 15ha 〔生産量〕（出典資料：奈良農林水産統計年報：天理市） 事業実施前（平成7年） → 計画 → 評価時点（平成20年） 水 稲： 5,190 t 4,680 t 4,310 t な す： 1,940 t 1,410 t 1,115 t トマト： 2,030 t 1,850 t 1,410 t 2 営農経費の節減 〔集出荷時間〕 （在来路線利用と農道経由のアクセス時間比較） 野菜（なす） 1次輸送（ほ場→集出荷場）：事業実施前 4分 → 計画 1分 → 評価時点 1分 2次輸送（集出荷場→名阪国道）：事業実施前 8分 → 計画 3分 → 評価時点 3分			

狭小区間が解消され、本農道を通行することで通作の移動時間の短縮が図られている。
また、輸送に関しては一般交通の多い国道169号線等の利用に変わり、本農道を利用することで阪神方面（名阪国道）へのアクセスが改善され、輸送時間の短縮が図られている。
あわせて、路面状態が改善されたことで農産物の荷傷みが解消され品質が向上している。
また、車種の大型化による輸送の効率化が図られているとともに、阪神方面への流通経路としても確立され、本農道が営農において有効に利用されている。

3 地域生活環境の保全・向上

〔一般交通の通行時間〕

本道路により、南北における集落間の一般交通時間が短縮され、地域の生活環境が向上しているとともに、国道169号線における慢性的な渋滞が緩和されている。

イ 事業効果の発現状況

1 事業の目的に関する事項

農道整備やあわせて実施したほ場整備により、集出荷の効率化、農業機械の導入及び農業資材の運搬が容易となり、野菜産地の維持・向上及び農業経営の合理化が図られている。

2 土地改良長期計画における施策と目指す成果等の確認

①優良農地の確保、有効利用による食料供給力の強化

本農道の利用により、農作物や生産資材の輸送の効率化が図られている。また、路面状態が改善され、荷傷みがなくなり品質も向上するとともに、出荷体制も整備され阪神地域の都市近郊型農業としての産地形成が維持されている。

3 その他

和爾地区では、一体的に実施したほ場整備を契機として「和爾営農組合」が設立され、担い手育成型から集落営農へ移行し、15haの基幹三作業受委託を行っている。また、大型農業機械の導入による経費節減、オペレータ育成による水稻等の基幹農作業の労力軽減、湛水直播栽培の推進による育苗・田植えの省力化・低コスト化が図られる等の様々な取り組みによる活気ある農業が展開されている。

ウ 事業により整備された施設の管理状況

本農道は天理市により適切に管理されている。

また、清掃等の日常管理は農業者だけでなく地域住民も参加しており、地域ぐるみの取り組みにより適正に管理されている。

エ 事業実施による環境の変化

1 生活環境

地域住民が日常の生活道路として利用しているほか、阪神方面（名阪国道）、国道169号線へのアクセスが良好になるとともに、奈良東病院、老人保健施設等の近隣の公共施設への利便性向上が図られている。

2 自然環境

農道に隣接する集落においては農地・水環境保全向上対策により、道路清掃や農道脇にハナミズキを植えたり、農地には化学肥料低減とあわせたレンゲ栽培するといった住民による環境保全、景観への配慮が図られている。

オ 社会経済情勢の変化

1 社会情勢の変化（出典資料：国勢調査：天理市）

第3次産業が中心であり、第3次産業は増加しているが、第1次産業は減少している。

〔産業別人口の変化〕

	平成7年	平成12年	平成17年
第1次産業	2,761人（8.7%）	2,503人（7.1%）	2,025人（6.2%）
第2次産業	9,088人（28.6%）	10,690人（30.1%）	7,493人（23.1%）
第3次産業	19,915人（62.6%）	22,278人（62.8%）	22,464人（69.1%）
計	31,764人	35,471人	31,982人

2 地域農業の動向（出典資料：農林業センサス：天理市）

総農家数は減少しているが、専業農家数は増加し、専業農家割合は県全体のよりも高い水準にある。

[専業別農家数の変化]

専業農家

第1種兼業農家

第2種兼業農家

計

平成7年

平成12年

平成17年

市 11.3%

市 15.3%

市 20.4%

市 12.9%

市 15.1%

市 14.7%

市 75.8%

市 69.6%

市 64.9%

市 11.0%

市 13.0%

市 17.6%

市 9.2%

市 10.5%

市 9.6%

市 79.7%

市 76.5%

市 72.9%

県 11.0%

県 13.0%

県 17.6%

県 9.2%

県 10.5%

県 9.6%

県 79.7%

県 76.5%

県 72.9%

285戸

267戸

298戸

325戸

263戸

215戸

1,912戸

1,213戸

948戸

2,522戸

1,743戸

1,461戸

カ 今後の課題等
特になし

事後評価結果

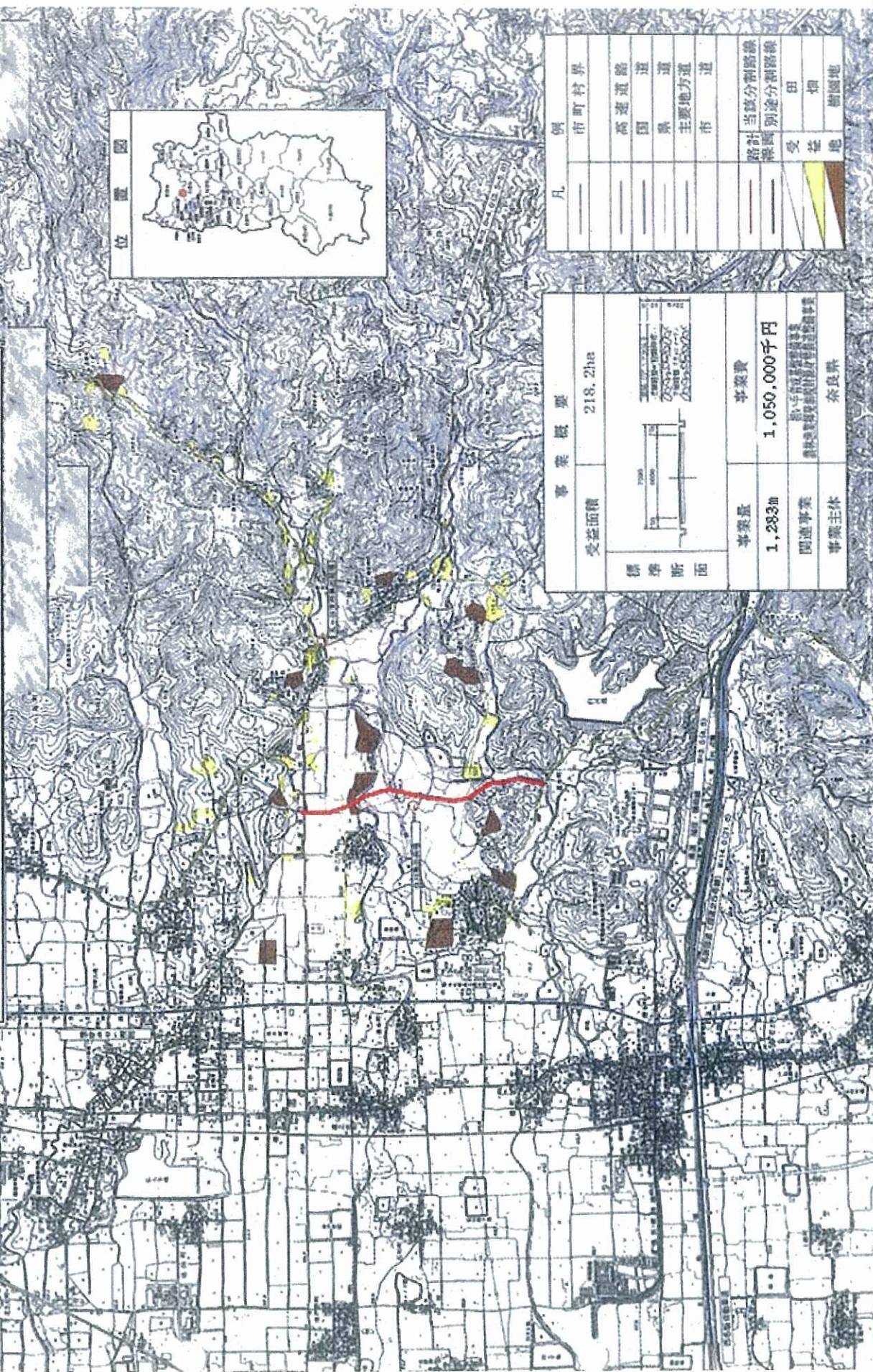
- ・ 本農道整備により、水稻・野菜の集出荷の効率化が図られている。
- ・ 地域住民等の一般交通としても利用され、生活環境の向上が図られている。

第三者の意見

- ・ 農道の整備による集出荷の効率化、荷痛みの解消、品質の向上等の効果により産地の振興が図られている。
- ・ 生活道路や一般交通としても利用され、地域住民の生活環境の向上が図られている。

県営農林漁業用揮発油税財源替農道整備事業

奈良県 白川和爾地区 計画一般図



事業概要	
受益面積	218.2ha
標準断面	
事業費	事業費
事業量	1,050,000千円
関連事業	奈良県営農道整備事業
事業主体	奈良県

凡例	
市町村界	—
高速道路	—
国道	—
県道	—
主要地方道	—
市道	—
道	—
路計当該分割路線	—
保固別途分割路線	—
受益地	—
田	—
畑	—
樹園地	—

(別紙様式3)

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局 名	近畿農政局
-----	-------

都道府県名	奈良県	関係市町村名	な ら し 奈良市																				
事業名	農業集落排水事業	地区名	たはら 田原地区																				
事業主体名	奈良市	事業完了年度	平成16年度																				
〔事業内容〕 事業目的：本地区は、生活様式の高度化に伴い、生活排水が農業用排水路へ流入することによる水質の悪化から、農作物の生育障害や営農経費が増大していた。 このため、し尿や生活雑排水等の汚水処理する農業集落排水施設を整備し、農村生活環境の改善、公共用水域の水質保全に寄与するため、本事業を実施した。 受益面積：49 ha 受益者数：1,940 人 受益戸数：412 戸 主要工事：処理施設 1 箇所、管路施設 26.6 km、中継ポンプ施設 20 箇所 総事業費：2,558 百万円 工 期：平成7年度～平成16年度（計画変更：平成16年度）																							
〔項 目〕 ア 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 1 農業被害の軽減 生活雑排水の大部分は、地区内の農業用排水路に流入していたが、本事業により農業集落排水施設を整備したことで、農業用水の水質改善が図られ、作物の被害面積は減少している。 〔被害面積〕（資料：事業計画書（評価時点については、農業共済組合より聞き取り）） 事業実施前（平成6年）30.5 ha → 計画 0.0 ha → 評価時点（平成22年）0.0 ha 〔生産量〕（資料：H6農産物市町村別統計、H20～H21第57次奈良県農林水産統計年報） 水稻 事業実施前（平成6年）505 kg/10a → 評価時点（平成20～21年）507 kg/10a 2 営農経費の節減 農業用水の水質改善により、遠方のため池から運搬していた茶樹等の防除用水を付近の農業用排水路から取水することが可能となり、農作業時間の短縮が図られている。 3 快適性及び衛生水準の向上（資料：農業集落排水実施状況等調査結果） 〔定住人口の水洗化率〕 事業実施前（平成6年）0% → 計画 100% → 評価時点（平成22年）57% 4 公共用水域の水質保全（資料：奈良市下水道維持課調べ） 〔放流水質〕 適正な処理施設の稼働により、放流水は浄化槽法等による水質基準を満たしている。 <table><tr><td></td><td>SS (mg/L)</td><td>BOD (mg/L)</td><td>COD (mg/L)</td></tr><tr><td>汚水処理基準値</td><td>50</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>H6（事業実施前）</td><td>35</td><td>22</td><td>26</td></tr><tr><td>H17（事業完了直後）</td><td>7.5</td><td>35</td><td>7.5</td></tr><tr><td>H22平均（評価時点）</td><td>4.8</td><td>3.6</td><td>7.9</td></tr></table>					SS (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	汚水処理基準値	50	20	20	H6（事業実施前）	35	22	26	H17（事業完了直後）	7.5	35	7.5	H22平均（評価時点）	4.8	3.6	7.9
	SS (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)																				
汚水処理基準値	50	20	20																				
H6（事業実施前）	35	22	26																				
H17（事業完了直後）	7.5	35	7.5																				
H22平均（評価時点）	4.8	3.6	7.9																				

イ 事業効果の発現状況

1 事業の目的に関する事項

[農業生産性の向上]

生活雑排水の農業用排水路への流入が減少し、農業被害面積が解消されている。また、茶樹等の防除用水の取水が容易となり、農作業時間の節減等が図られている。

[活力ある農村社会]

農業集落排水施設の整備に伴うトイレの水洗化に伴う住環境の改善及び農業用排水路への生活雑排水の流入の減少により、農村生活環境の改善が図られている。

[循環型社会の構築]

処理水は、農業用排水路へ放流後、農業用水として再利用が行なわれている。また、排出される汚泥はコンポスト化され、農地還元が図られている。

2 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認

①田園環境の再生・創造と共生・循環を活かした個性豊かで活力ある農村づくり

- ・ トイレの水洗化、水回りの整備により農村生活の快適性・利便性が向上した。
- ・ 農業集落排水施設が整備されたことに伴い、農業用水及び公共用水域の水質が浄化され、農業生産の向上が図られた。

ウ 事業により整備された施設の管理状況

- ・ 管路施設は、市下水道維持課により適正に管理されている。
- ・ ポンプ施設及び処理施設は民間委託により適正に管理されている。
- ・ 処理場の日常管理（見廻り、草刈り等）については、地元自治会へ委託され適正に管理されている。

エ 事業実施による環境の変化

1 生活環境

- ・ トイレの水洗化、水回り等の整備により農村生活の快適性利便性が向上している。

2 自然環境

- ・ 集落周辺の水質改善により悪臭が無くなり、害虫の発生が抑制されている。
- ・ また、汚水処理施設ができたことにより、河川へ流れる水がきれいになっている。

オ 社会経済情勢の変化

1 社会情勢の変化

定住人口は増加傾向で、就業人口も増加傾向にある。また、地域の産業は第3次産業が中心であるが、第1次、第2次産業人口は平成6年時点より増加している。

[産業別就業人口]（資料：国勢調査（奈良市） ※旧都祁村、旧月ヶ瀬村を除く）

	平成6年	→	平成12年	→	平成17年
定住人口	359,218人		366,185人		370,102人
第1次産業	2,980人（2.1%）		2,336人（1.4%）		3,134人（1.9%）
第2次産業	20,620人（14.4%）		38,147人（23.8%）		32,551人（20.2%）
第3次産業	119,231人（83.5%）		119,898人（74.8%）		125,648人（77.9%）
計	142,831人		160,381人		161,333人

2 地域農業の動向

総農家戸数は減少しているが、専業農家については平成12年度時点より増加している。

[専業別農家数]（資料：2005年農林業センサス）

	平成6年	→	平成12年	→	平成17年
専業農家	329戸（9.0%）		222戸（10.2%）		248戸（13.8%）
第1種兼業農家	364戸（10.0%）		230戸（10.5%）		150戸（8.3%）
第2種兼業農家	2,950戸（81.0%）		1,729戸（79.3%）		1,401戸（77.9%）
計	3,643戸		2,181戸		1,799戸

カ 今後の課題等

- ・ 更に接続率を上げて、農業用排水路の水質向上、公共水域の水質保全を行う必要がある。

事後評価結果

- ・ 農業用水の水質が改善され、農業用排水施設機能が維持されて

	いる。 ・ 家庭からの生活雑排水が浄化され、生活環境及び自然環境が改善されている。
第 三 者 の 意 見	・ 特段の意見なし。

